

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年6月20日		記入者		連絡先	2336
平成18年度部名	財務部		課名	管財課	課長名	新妻 隆之
平成19年度部名	財務部		課名	管財課	課長名	佐藤 芳男
事務事業名	庁用自動車事務運営費					
予算上の事務事業名	庁用自動車事務運営費(タクシー借上料)					
1 総合計画における位置づけ			施策コード			
基本目標	#N/A					
政策名	#N/A					
基本施策名	#N/A					
施策名	#N/A					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	対策			5 事業開始年度		
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
庁用自動車の適切な運行管理を確立することにより、人件費の削減や燃料費の抑制を目的とする。					自動車運転手	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<p>○タクシー利用件数 357件 1,098,080円</p> <p>東京(省庁周辺)や横浜方面への共用車(運転手付き)の運行に際し、帰庁時間が午後5時以降となるような場合、帰りをタクシー対応とするため東京無線協同組合(タクシー会社)と契約し人件費の削減を図る。</p> <p>また、午後5時以降において待機時間が長時間となるような場合の対応として、市内タクシー業者とも契約し人件費の削減を図る。</p>						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	2,308	1,670	1,099	2,500	2,500	
一般財源	2,308	1,670	1,099	2,500	2,500	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	7,263	7,245	7,245	7,245	7,245	
事業コスト合計	9,571	8,915	8,344	9,745	9,745	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	タクシー借上げ料			対象名称 と単位	利用回数(回)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	9,571	8,915	8,344	9,745	9,745	
対象数	617	502	357	812	812	
単位あたり経費(円)	15,512	17,759	23,373	3,078	3,078	
前年度比		1.14	1.32	0.13	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	タクシー利用回数	指標式と指標の説明			
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	617.0	502.0	357.0		
目標					
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	人件費の伸び	指標式と指標の説明	当該年度時間外数÷前年度時間外数×100 時間外数の削減により成果を表す		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	110.1	119.2	100.5		
目標	(42.0)	0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度（％）	(262.1)	#DIV/0!	#DIV/0!		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [ A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない ]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [ A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない ]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [ A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い ]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [ 有・無 ]					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[            ]	：良好な状態を維持する事業			
	[            ]	：概ね良好な状況である事業			
	[            ]	：見直しを行う必要がある事業			
	[            ]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		人件費や燃料消費抑制を考えれば費用対効果があると考える。共用車（運転手付き）の台数が限られ、共用車の対応が不可能な場合においては、共用車の代替としてタクシーの借上げは有効な手段であり、当該事業の継続が必要であると考えられる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
人件費削減のため、待機時間が長くなる場合は、タクシー対応としてタクシー利用の増進を図る。			・帰庁予定が午後5時までであったものが、会議、打合せ等の時間延長により、帰庁が午後5時以降となることがある。		
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		所属長の意見にあるように、費用対効果が見込めるのであれば、共用車のあり方を含め、検討を行う必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			